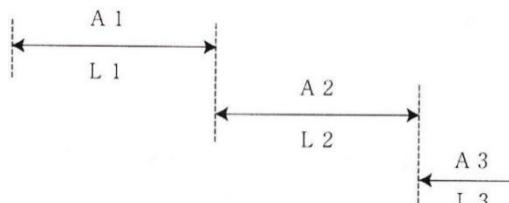
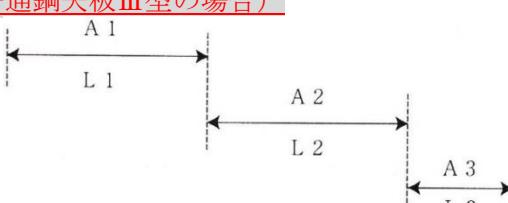


土木工事積算基準（平成30年5月）の一部修正その2 新旧比較表

| 現 行 (II-7-2) | 修 正 | 備考 (内容) |
|--|---|---------|
| <p>(2) 貨料の算出</p> <p>ア. 転用工事における予備日数5日と4日については、当該1現場当たり1回算入するものとし、転用毎には算入しないこと。</p> <p>イ. 鋼矢板及びH鋼材の貨料=供用1日当たり貨料×貨料期間（1）</p> <p>ウ. 支保材の貨料 =供用1日当たり貨料×貨料期間（2） ただし、木製の場合は供用回数とする。</p> <p>エ. 鋼矢板等の1現場あたりにおける使用回数が2回以上となるときは、下記により補正率を乗じて補正することができる。</p> <p>1 現場当たりの鋼矢板及びH形鋼の修理費×(n+1)／2 〃 支保材の修理費 × (n+1)／2</p> <p>(注) 1. nは使用回数。 2. 木製支保、横矢板の修理費は計上しない。 3. 覆工板等についても同様の扱いとする。</p> <p>オ. 転用する場合の修理費及び損耗費の計算方法</p> $B_n(\text{施工延長 } 1\text{ m当たりの修理係数}) = \frac{1/2(\text{施工延長}/\text{転用延長} + 1) \times \text{転用延長}}{\text{施工延長}} \dots \textcircled{1}$ $\text{矢板重量} = \textcircled{1} \times \text{単位重量 } (t/m^2) \times \text{平均矢板長} \times 1 \dots \textcircled{2}$ $\text{修理費 } (1\text{ m当たり}) = \textcircled{2} \times 1\text{ t 当りの修理費} \dots \textcircled{3}$ $\text{修理費} = \textcircled{3} \times \text{施工延長 } (m)$ <p>カ. 転用する場合の貨料計算</p>  $\text{全体の貨料} = P \times (5\text{日} \times L_1 + A_1 \times L_1 + A_2 \times L_2 + A_3 \times L_3 + 4\text{日} \times L_3)$ <p>P : 施工延長 1m当たりの貨料 = 供用1日当たりの貨料×5枚/両側m×矢板長 (m/枚) × 単位重量 (kg/m)</p> <p>A : 1工区当たりの貨料期間 (予備日数5日と4日を除く)</p> <p>L : 1工区当たりの延長</p> | <p>(2) 貨料の算出</p> <p>ア. 転用工事における予備日数5日と4日については、当該1現場当たり1回算入するものとし、転用毎には算入しないこと。</p> <p>イ. 鋼矢板及びH鋼材の貨料=供用1日当たり貨料×貨料期間（1）</p> <p>ウ. 支保材の貨料 =供用1日当たり貨料×貨料期間（2） ただし、木製の場合は供用回数とする。</p> <p>エ. 鋼矢板等の1現場あたりにおける使用回数が2回以上となるときは、下記により補正率を乗じて補正することができる。</p> <p>1 現場当たりの鋼矢板及びH形鋼の修理費×(n+1)／2 〃 支保材の修理費 × (n+1)／2</p> <p>(注) 1. nは使用回数。 2. 木製支保、横矢板の修理費は計上しない。 3. 覆工板等についても同様の扱いとする。</p> <p>オ. 転用する場合の修理費及び損耗費の計算方法</p> $B_n(\text{施工延長 } 1\text{ m当たりの修理係数}) = \frac{1/2(\text{施工延長}/\text{転用延長} + 1) \times \text{転用延長}}{\text{施工延長}} \dots \textcircled{1}$ $\text{矢板重量} = \textcircled{1} \times \text{単位重量 } (t/m^2) \times \text{平均矢板長} \times 1 \dots \textcircled{2}$ $\text{修理費 } (1\text{ m当たり}) = \textcircled{2} \times 1\text{ t 当りの修理費} \dots \textcircled{3}$ $\text{修理費} = \textcircled{3} \times \text{施工延長 } (m)$ <p>カ. 転用する場合の貨料計算 <u>(普通鋼矢板III型の場合)</u></p>  $\text{全体の貨料} = P \times (5\text{日} \times L_1 + A_1 \times L_1 + A_2 \times L_2 + A_3 \times L_3 + 4\text{日} \times L_3)$ <p>P : 施工延長 1m当たりの貨料 = 供用1日当たりの貨料×5枚/両側m×矢板長 (m/枚) × 単位重量 (kg/m)</p> <p>A : 1工区当たりの貨料期間 (予備日数5日と4日を除く)</p> <p>L : 1工区当たりの延長</p> | 文言の追記 |